

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	12	B	130	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	1	B	63	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
(1)	教育の成果に関する目標を達成するための措置	A	0	B	22	C	0	D	0	II	中期目標の数値目標(国家試験の合格率)について、医師国家試験及び保健師国家試験では数値目標を達成できなかったものの、看護師国家試験では第一期中期目標期間で初めて受験者全員が合格し、数値目標を達成できたことについて評価できる。 看護師 実績100.0%(目標100%、全国95.1%) 医師(新卒) 実績 91.9%(目標 95%、全国93.9%) 保健師 実績 94.4%(目標 95%、全国89.2%)
		「コミュニケーション論」(2年前期必修)において、模擬患者が加わった実践的な授業を行うなど、おおむね計画どおり実施した。									
		A	0	B	29	C	0	D	0		
		総合科学系科目において生命科学・社会医学系、臨床医学系の教員が一部分を担当するなど、総合科学と基礎医学・臨床医学とを関連づけた横断的、統合的な授業を行うなど、おおむね計画どおり実施した。									
(2)	教育内容等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	29	C	0	D	0	II	看護学研究科の授業科目の単位認定に関わる准教授を増やし、同研究科の教員組織を強化するとともに、修士論文完成過程における教員間の意見交換を行い、教員相互の研究指導能力の向上に取り組んだことについて評価できる。
		総合科学系科目において生命科学・社会医学系、臨床医学系の教員が一部分を担当するなど、総合科学と基礎医学・臨床医学とを関連づけた横断的、統合的な授業を行うなど、おおむね計画どおり実施した。									
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0	II	
		教員の教育活動を支援するために「ティーチングアシスタント制度」や「臨床教授制度」の活用を図るなど、おおむね計画どおり実施した。									
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	医学部では、担任制(1、2年生)の実施、ファカルティアドバイザー制(1年生から4年生)の導入、基礎医学・社会医学系等の教員による相談対応(5、6年生)等を行い、看護学部では、学生生活アドバイザー(教員)の配置を行うなど、学生支援の充実に取り組んだことについて評価できる。
		メンタル面のサポートが必要な学生については、大学健康管理センター所属のカウンセラーと医学学生部長・学生課が連携を図りながら対応するなど、おおむね計画どおり実施した。									
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	1	B	25	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価			
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項		
	(1)	A	0	B	13	C	0	D	0	II	研究推進戦略室及び先端医療研究推進・支援センターを新たに設置し、研究活動の促進と拡大に努めたことについて評価できる。 なお、教員(助手以上)の科学研究費補助金の応募率向上を期待する。		
		研究活動推進・支援を行う研究推進戦略室及び先端医療研究推進・支援センターを新たに設置し、研究活動の促進と拡大に努めるなど、おおむね計画どおり実施した。											
	(2)	A	1	B	12	C	0	D	0	II			
		科学研究費補助金の獲得に向けた学内外の講師による講演会を開催するとともに、申請書の事前確認体制(教員、事務局によるチェック体制)を整備し、競争的研究資金の獲得に努めるなど、おおむね計画どおり実施した。											
3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	6	B	11	C	0	D	0	II			
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。											
	(1)	A	3	B	3	C	0	D	0	I	新たに2施設での臨床研修医の派遣・受入れを可能にするなど、県内80施設と臨床実習や臨床研修の提携を行い、延べ151名を他の医療機関へ派遣するとともに、延べ4名を研修等で受け入れたことについて評価できる。		
		地域の医療施設等との連携・協力により、臨床実習や臨床研修を行うなど、おおむね計画どおり実施した。											
	(2)	A	1	B	3	C	0	D	0			II	地域の医師不足解消のため、地域医療支援担当教員15名、公的病院支援担当教員43名、政策医療等支援教員20名、地域医療再生支援教員12名の計90名を地域の拠点病院等へ派遣したことについて評価できる。
		地域の医師不足解消のため、教員をへき地医療の拠点病院や公的医療機関、地域医療や救急・災害・周産期・感染症等の分野に貢献していると認められる民間病院へ派遣し、支援を行うなど、おおむね計画どおり実施した。											
(3)	A	1	B	1	C	0	D	0	I	放射線・放射能を正しく理解するための公開講座を関係団体と連携し、開催したことについて評価できる。			
	医師・看護師等を対象にした研修会や講演会、市民公開講座を開催するなど、おおむね計画どおり実施した。												
(4)	A	0	B	4	C	0	D	0	II				
	地域イノベーション戦略支援プログラム(文部科学省事業)の中核機関として、日大、福大及び県内企業と連携し、全体の取りまとめを行うとともに、遠隔医療システムの研究開発を行うなど、おおむね計画どおり実施した。												

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
	(5)	地域貢献の評価に関する具体的方策	A	1	B	0	C	0	D	0	I	
			本学の専門看護師、認定看護師が県内の医療施設や福島県看護協会主催の介護研修の講師として各種分野で貢献するなど、おおむね計画どおり実施した。									
	4	国際交流に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	
			おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
	(1)	留学生交流、その他諸外国の大学・研究機関等との教育研究上の交流に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	武漢大学(中国)から教員3名を受け入れるとともに、医学部4年生4名を「基礎上級」の一環として同大学に留学させたことについて評価できる。
			医学部学生4名を約1か月にわたり、中国武漢大学に留学させる等、外国の大学等との交流、連携、協力活動を推進するなど、おおむね計画どおり実施した。									
	5	大学附属病院に関する目標を達成するための措置	A	4	B	26	C	0	D	0	II	
			おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
	(1) 1	良質な医療人の育成に関する具体的方策	A	2	B	2	C	0	D	0	I	認定看護師の皮膚排泄ケア認定コース及び救急看護認定コースに職員(各コース1名)を受講させ、資格取得者の養成を行ったことについて評価できる。
			卒前から卒後の一貫した支援を実施するため、スキル・ラボラトリーの利用緩和、臨床研修プログラムの運用見直し、ステップアップセミナーの実施、女性医師支援のための啓発活動など、研修内容や設備の改善・充実を図るなど、おおむね計画どおり実施した。									
	(1) 2	高度で先進的な医療の研究・開発とEBMの推進に関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	
			看護研究実践応用センターに所属する専門看護師・認定看護師の支援により院内の看護研究を推進するなど、おおむね計画どおり実施した。									
	(2)	高度で先進的な良質な医療の提供に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	県から高度救命救急センターの指定を受けた(平成24年3月30日付)ことについて評価できる。
			県内5方部でドクターヘリ症例検討会を開催し、有効で効果的な運用について検討するなど、おおむね計画どおり実施した。									

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
	(3)	患者の安全管理と患者サービスの向上に関する具体的方策	A	0	B	8	C	0	D	0	II	患者や家族のアメニティー(快適さ)を考慮し、要望を踏まえながら院内の環境整備に努めたことについて評価できる。
	(4)	地域との連携に関する具体的方策	A	2	B	1	C	0	D	0	I	紹介率(初診患者のうち、紹介患者及び救急患者の数の割合)が59.8%となり、中期計画の数値目標(50%以上)を達成したことについて評価できる。
			地域の医師又は看護師等を対象とする講習会として、福島アドバンスド・コースや新生児心肺蘇生講習会、診断推論セミナー、模擬患者養成公開講座、BLS(一次救命処置)講習会等を実施するなど、おおむね計画どおり実施した。									
	(5)	安定的かつ効果的な病院経営に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	年度上半期について、病院マネジメント支援システムで原価計算を行い、診療科ごとの傾向を把握し、医業収益の減少や材料費の増加の傾向が確認された診療科と今後の見通しについて協議するなど、病院経営の改善を図ったことについて評価できる。
安定的かつ効果的な病院経営を行うため、平成22年度の原価計算結果で数値変動の大きい診療科を訪問し状況を把握するとともに、病院マネジメント支援システムにより原価計算を実施し、病院経営企画会議にて報告したほか、データ分析検討会にて検討を行うなど、おおむね計画どおり実施した。												
(6)	会津医療センター(仮称)に関する具体的方策	A	0	B	1	C	0	D	0	II	地域医療担当理事兼会津医療センター準備室長の下、更なる医師確保に努めるとともに、会津医療センター準備室教員を中心として、会津総合病院職員と協議しながら各部門の運営システムの検討を行うとともに、看護専門外来の人材育成研修を開始するなど、おおむね計画どおり実施した。	
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	11	B	24	C	0	D	0	II		
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										
1	運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0	II		
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										
(1)	効果的な組織運営に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	法人内の各種会議、委員会について、設置状況調査を実施して、設置目的に照らした見直しを行い、一部の会議を廃止したことについて評価できる。	
		7月に設置した副学長2名と9月に設置した顧問1名が、各々の立場から理事長のリーダーシップ発揮を支援するなど、おおむね計画どおり実施した。										

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
	(2)	全学的視点からの戦略的な学内資源配分に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	知的財産管理活用オフィスにおいて、間接経費の配分計画を策定し、研究経費の効果的な配分を行うとともに、大学全体又は特定分野の研究レベルの向上につながる研究用機器の選定を行ったことについて評価できる。
	2	教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	
	(1)	教育研究組織の編成・見直しのシステムに関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故を受けて、県民の健康を長期間にわたり見守っていくため、放射線医学県民健康管理センターを開設(9月1日付)するとともに、医学部に放射線生命科学講座及び放射線健康管理学講座を開設(ともに10月1日付)し、県民健康管理調査事業の実施体制の強化に努めたことについて評価できる。
	3	教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置	A	7	B	6	C	0	D	0	I	
	(1)	人材の確保に関する具体的方策	A	7	B	3	C	0	D	0	I	新たに病児病後児保育所を開所し、病児病後児保育事業を開始するとともに、「病児病後児保育助成事業実施要綱」を改正して医大病児病後児保育所を助成対象施設に加え、利用者の負担軽減を図るなど、教職員への育児支援を充実させたことについて評価できる。
	(2)	非公務員型を生かした柔軟かつ多様な人事システムの構築に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
	4	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	3	B	6	C	0	D	0	II	

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(1)	事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	
	政府第3次補正予算に基づく本学復興関係事業を適切に執行するため、企画室において復興対策本部タスクフォース及び5つのサブタスクフォースを設置し、基本構想策定業務委託に係る検討を進めるなど弾力的な業務運営を行うなど、おおむね計画どおり実施した。										
(2)	事務等の効率化に関する具体的方策	A	2	B	3	C	0	D	0	II	附属病院において、医師の事務業務を代行する医療秘書(派遣職員)を一部の病棟に配置して、医師の負担を軽減し、医師が教育・研究・診療に専念できる環境を整えたことについて評価できる。
	役員会、審議会、教授会において、会議資料のペーパーレス化を図るなど、おおむね計画どおり実施した。										
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	14	C	0	D	0	II	
おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。											
1	外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	平均在院日数は、年間(4月から3月まで)で16.9日となり、中期計画の数値目標(18日以下)を達成したことについて評価できる。
文部科学省科学研究費補助金の採択を支援するため、講演会の開催や申請書の事前確認、各種相談を行うなど、おおむね計画どおり実施した。											
2	経費の節減に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	ボイラー管理業務のほぼ全面委託化や事務効率化、ペーパーレス化等を推進し、管理経費の節減を図ったことについて評価できる。
施設管理運営マニュアルに基づき、エレベータの部分停止を行うなど、おおむね計画どおり実施した。											
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	震災後の新たな施設需要に対応するため、施設配置見直し検討部会の審議や関係部署間の調整を通して、限られた学内スペースを積極的に有効活用したことについて評価できる。 なお、病床利用率(一般病床)については回復基調にあり、年間での数値目標の達成を期待する。
施設配置見直し検討部会の審議により、施設・設備の有効活用と効率的な運用管理に努めるなど、おおむね計画どおり実施した。											
第4	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	11	C	0	D	0	II	
おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。											
1	自己点検・評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	教員の自己点検・自己評価の実施に当たり、教員評価データベースへの入力がスムーズになるように、簡易版のマニュアルを作成するなどの見直しを行ったことについて評価できる。
全ての科目について学生による授業評価を実施し、評価結果は担当の教員へフィードバックするとともに、評価結果は、本学ホームページの「学内専用」ページに掲載するなど、おおむね計画どおり実施した。											

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
2	第三者評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	2	C	0	D	0	II	
		大学認証評価結果及び県公立大学法人評価委員会評価結果をそれぞれ大学ホームページで学内外に公表するなど、おおむね計画どおり実施した。									
3	評価結果の活用に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	独立行政法人大学評価・学位授与機構の大学認証評価で改善を求められた「看護学研究科の定員充足率」や県公立大学法人評価委員会が改善を求めた「病床利用率の向上」等について、役員会や法人経営企画会議等において、改善に向けた取組の進行管理を行ったことについて評価できる。
		大学認証評価及び県公立大学法人評価委員会で改善を求められた事項については、役員課題等として役員会等で改善等に係る取組の進行管理を行うなど、おおむね計画どおり実施した。									
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
1	大学情報の積極的な公開・提供及び広報に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	副学長(山下氏、神谷氏)や医学部放射線健康管理学講座教員による放射線・放射能の理解促進に係る各地での講演、国際専門家会議「放射線と健康リスク」等を開催し、広く情報の発信に努めたことについて評価できる。
		大学総合パンフレット(日本語版)を6月末に発行し、7月からのオープンキャンパス等で配付した。また、同英語版についても、9月末に発行するなど、おおむね計画どおり実施した。									
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	A	0	B	9	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
		施設の適切な維持管理を図るため、常時点検で状態把握を行うとともに耐用年数に近づいている機器類は、年次計画で改修を行うなど、おおむね計画どおり実施した。									
2	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	大学健康管理センターの事務職員や保健師を増員して、職員の健康管理体制を充実させたことについて評価できる。
		学生の健康の保持増進を図るため、大学健康管理センターの職員体制の改善を図るなど、おおむね計画通り実施した。									
第1～第6 (計215項目)		A	23	B	192	C	0	D	0	II	

注1:自己評価の考え方

- A・・・年度計画を上回って実施している
- B・・・年度計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・年度計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・年度計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・年度計画を十分に実施できている
- II・・・年度計画をおおむね実施できている
- III・・・年度計画を十分に実施できていない
- IV・・・年度計画を実施できていない